

写真台帳の作成・更新マニュアル

2013.10.30、改訂 2013.11.12、改訂 2014.04.23、改訂 2014.06.17

H24 年度補正予算により調達された設備が納入・設置された各研究機関は、物品管理台帳を作成して物品管理するとともに、納入ベンダから提供された写真データをもとに、各機器の写真台帳を作成（Word, or Excel のオリジナルファイル）し管理する。（物品管理台帳には必ず設置場所を、部屋名まで明記する。）

写真台帳の保守・更新の注意点：

1. 「入札金額内訳書」等の契約の内訳に示す構成品内訳が明瞭に、対応整理されている表と写真によって作成すること。
2. 複数のユニットが一続きの構成になっている場合は、それぞれの部位がわかりやすいように、囲いや矢印等で指し示すこと。
3. 型式および製造番号が視認できる写真を含めたものとする。
4. 全構成品を、（可能な限り）一枚の写真に入れた全体構成写真を含めること。（構成品の大きさ、形状により、全体写真が難しい場合は、複数の写真により全体構成が把握できるように工夫した写真構成にすること）
5. 構成品内訳のうち、他社 OEM のもので、装置には入札金額内訳書の型番が記載されておらず OEM メーカー型番のみ記載されている場合、入札金額内訳書の型番と OEM メーカーの型番との対応表を付記する。
6. 修理・交換などで、構成内容に変更が発生した場合、変更事項内容を記録（日時、場所、変更内容）し、変更された部分の写真データを更新すること。

写真台帳の冒頭部に更新日を記入し、更新内容を末尾の更新履歴に記載する。

7. 更新前の古い版の写真台帳は、アーカイブとして保管しておく。
8. 最新の写真台帳の電子ファイル（Word or Excel）を、JST に送付すること。
9. ・ JST 物品管理シール（バーコードシール）、補助金シール貼付後に、次の写真を追加する：
 - シール貼り付け位置が判る（適度に引いた位置からの）写真 1 枚
 - JST 物品管理シール、補助金シールのアップ写真 1 枚。（管理番号、補助金文字が明瞭に読み取れる程度にアップ）。物品管理シールと補助金シールの両方が入る写真にする。
- ・ シール写真追加するページ内位置は、物品管理シールに該当する構成品写真の直後とし、納品時写真は、そのまま残す
- ・ 構成品のうち、物品管理シールを貼付せず補助金シールのみ貼付の構成品は、シール写真不要）。

台帳が更新（修理等）された場合、更新日を記入し（更新内容を末尾の更新履歴に記載する）、更新版 PDF を JST 送付する。古い台帳ファイルはアーカイブ保管。

写真台帳

<識別番号 **ー〇〇〇>

台帳更新日：平成**年*

月*日

I. 購入機器名 〇〇〇〇〇△△装置 0000 型

納入者：株式会社 □□□□

(担当：△△支店〇〇係長 〇〇〇〇、TEL：000-000-1234)

担当者：〇〇大学 〇〇研究センター

〇〇〇〇 (TEL：000-000-4567)

設置場所：〇〇□□法人 〇〇大学

△△センター 1 階 B1 研究室

取得年月：平成 年 月 日

装置構成

名称	数量	型番
1. △△型電子顕微鏡	1 台	〇×社 〇×△□ー1 1 1
2. □□型 X 線分析装置	1 台	〇×社 〇×△□ー1 1 1
3. 波長分散型〇〇分析装置	1 台	〇×社 〇×△□ー1 1 1
4. □□解析装置	2 台	〇×社 〇×△□ー1 1 1
5. △△ 試料蒸着装置	1 台	〇×社 〇×△□ー1 1 1
6. 〇〇装置	2 台	〇×社 〇×△□ー1 1 1
7. 冷却水循環ユニット	1 台	〇×社 〇×△□ー1 1 1
8. 除振台	1 台	〇×社 〇×△□ー1 1 1
9. データ解析用 PC	1 式	〇×社 〇×△□ー1 1 1

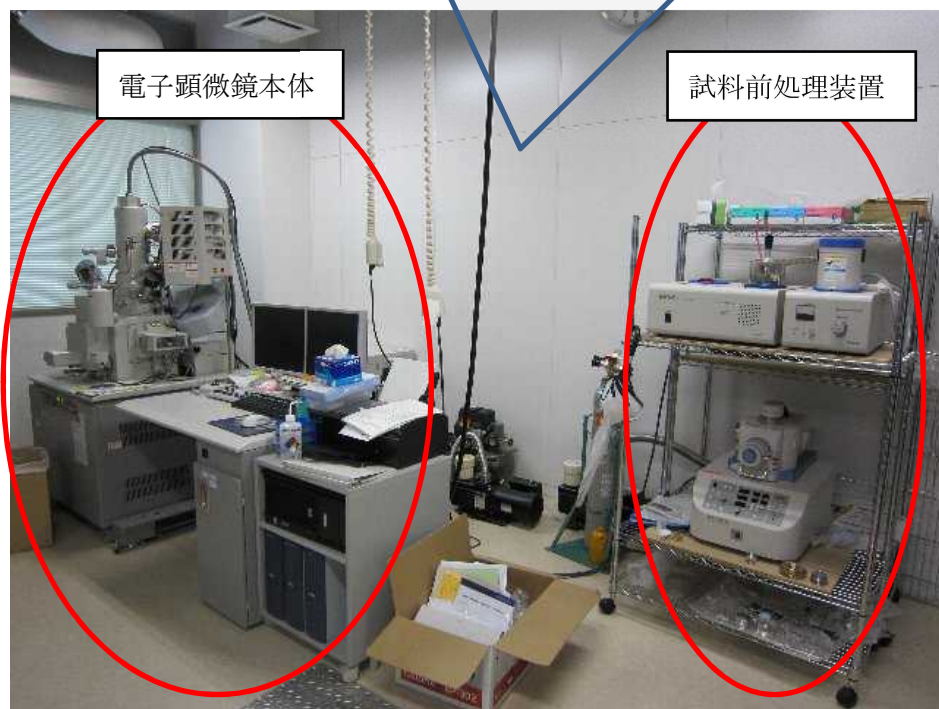
型番の対応表：

次の構成要素に記載される型番等とシリアル番号は、〇×社のものではなく、OEM メーカー△□社の型番とシリアル番号である。

名称	〇×社の型番	△□社の型番とシリアル番号
9. データ解析用 PC	型式 〇×△□ー1 1 1	型式 *** シリアル番号 *****

II. 装置構成および名称

全構成内訳を、(可能な限り)一枚の写真に入れた**全体構成写真**を含めること。(構成品の大きさ、形状により、全体写真が難しい場合は、複数の写真により全体構成が把握できるように工夫した写真構成にすること)



納品時写真は、そのまま残す






複数のユニットが一続きの構成になっている場合は、それぞれの部位がわかりやすいように、**囲いや矢印等**で指し示すこと。



納品時写真は、そのまま残す

納品時写真は、そのまま残す



Ⅲ. 詳細

型番	装置写真	銘板
1. 超分解能電界放射型走査型電子顕微鏡		
○×社 △型 電子顕微鏡 □□・00		
		型式および製造番号が明瞭に視認できる写真を含める。


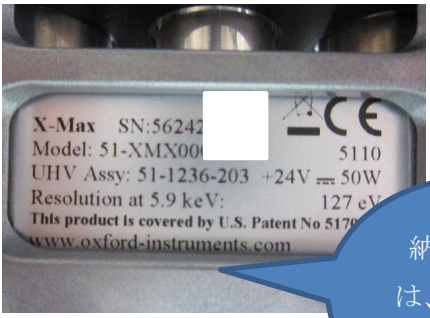


JST 物品管理シール（バーコードシール）、補助金シールの貼付状態の次の写真を追加する：

- シール貼り付け位置が判る（適度に引いた位置からの）写真1枚
- JST 物品管理シール、補助金シールのアップ写真1枚。（管理番号、補助金文字が明瞭に読み取れる程度にアップ）

シール写真追加するページ内位置は、該当する構成品写真の直後にする。（納品時写真は、そのまま残す）

<p>○×社 △型 電子顕微鏡 □□-00</p> <p>物品管理シール、 補助金シール</p>	<p>シール貼り付け位置</p> 	<p>シールのアップ写真</p>  <p>シール貼り付け後に追加する写真：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JST 物品管理シールと補助金シールの両方が入る写真にする。（構成品のうち、物品管理シールを貼付せず補助金シールのみ貼付の構成品は、シール写真不要）
--	--	---

2. エネルギー分散型 X 線分析装置

<p>○×社 △型 分析装置 □□-00</p>		 <p>納品時写真は、そのまま残す</p>
<p>物品管理シール、 補助金シール</p> <p>物品管理シールごとに、シール写真2枚を追加する</p>	<p>シール貼り付け位置</p> 	<p>シールのアップ写真</p> 

納品時写真は、そのまま残す

3. 波長分散型 X 線分析装置

<p>○×社 △型 分析装置 □□-00</p>		
<p>物品管理シール、 補助金シール</p>	<p>シール貼り付け位置</p> 	<p>シールのアップ写真</p> 

物品管理シールごとに、シール写真2枚を追加する

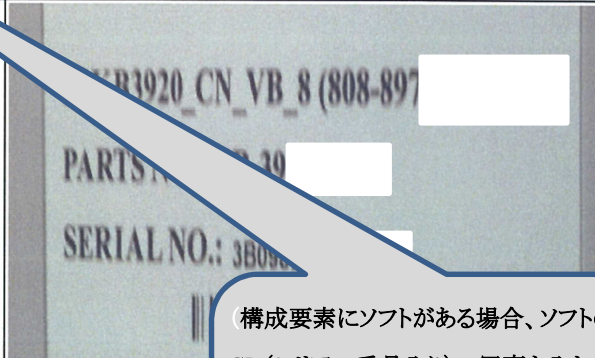
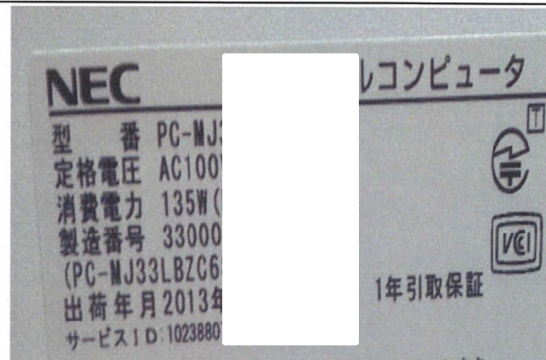
9. データ解析用 PC

○×社
△型
(OEM △□社 *
*型)

構成要素が他社 OEM で、装置には
入札金額内訳書の型番が記載され
ていない場合、OEM メーカーの型番
との対応表を付記する



構成品のうち、物品管理シールを
貼付せず補助金シールのみ貼付の構
成品は、シール写真不要)



(以下、構成番号 4～8 はこのサンプルでは省略。)

構成要素にソフトがある場合、ソフトのインストール
CD (シリアル番号入り) の写真を入れる)。インストー
ル CD が無いソフトの場合、ソフトのプロパティ等画面
での製品番号、ライセンス番号等を確認できる画面の
写真を入れる。

記入例

写真台帳の更新履歴

<識別番号 **ー〇〇〇>

日付	更新内容	更新後の台帳ページ数 (履歴含む)
平成 25 年 8 月 30 日	設備取得	5
平成 25 年 9 月 30 日	真空ポンプ故障の為、構成要素1. 電子顕微鏡の本体を新品交換し(新シリアル番号)、該当する写真データを更新した。	5
平成 25 年 10 月 10 日	構成要素9. データ解析 PC の液晶ディスプレイが故障し新品交換となったが、同型式は廃番であったため、同等仕様の型式*****への交換となった。該等写真データを更新。	5
平成 26 年 6 月 17 日	JST 物品管理シール(3枚)、補助金シールを貼り付けた。物品管理シールを貼り付けた状態の写真を6枚追加。	9
(以下、更新なし)		